



公益社団法人 秋田県理学療法士会
Akita Physical Therapy Association NEWS

Partner

Vol.210
2023 Autumn

広がれ 秋田県理学療法士会員、そして地域との輪

理学療法週間公開講座 三会場同時開催

PTの街育

研修会・セミナー案内

表彰報告

会長のあゆみ／思い邪無し

発行：公益社団法人 秋田県理学療法士会
会長：菅原 慶勇 責任編集：佐々木杏奈 印刷：(株)秋田情報プリント
事務局：〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40
TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org
ホームページ <https://www.ptakita.org>

理学療法の日

Physical Therapy Day 07.17

健康って、リハビリって、理学療法って、？



講師：大田 健太郎 氏

県北会場
北秋田市鷹巣町



県北

県央会場
秋田市



講師：若狭 正彦 氏

県央

コロナ禍で中止・縮小を余儀なくされてきた理学療法週間のイベントも、以前のにぎわいが徐々に戻ってきました。今年は、県内の離れた三会場を配信でつなぐ試みも行われました。面積の大きな当県における情報提供の均一化という課題解決にむけても大きな一歩となる公開講座になりました。

県北・県央・県南

今年は三会場



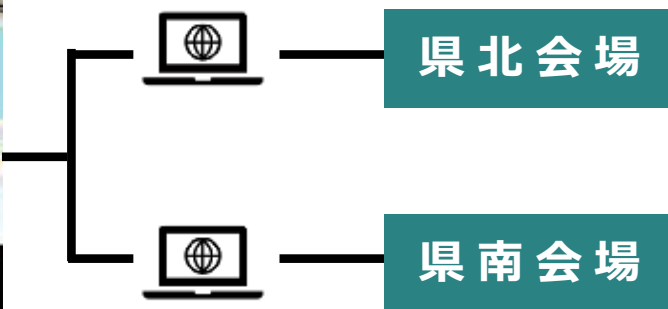
実行委員長
菊地 和人 氏

7月22日、理学療法週間の公開講座を3つの会場で同時に開催しました。テーマは、健康寿命延伸に向けて「理学療法の日～健康って、リハビリって、理学療法って、？」でした。講演では、健康に対するリハビリテーションの重要性や、理学療法士の役割について、メイン会場から配信し、地域づくりを代表する体操も紹介しました。今回のイベントは、ポストコロナ時代を象徴するような形式で3つの会場を中継しました。また、久しぶりのコロナ前と同様に関連団体ブースや、身体機能測定を中央会場で実施しました。

100名を超える県民の方々にご参加いただき、成功裏に終えることができました。これもひとえに、45名の県内の理学療法士の先生方のご協力のおかげと心より感謝申し上げます。



県 中央会場



県北会場

県南会場

菅原会長の講演を生配信！

菅原会長による講演を配信を利用して三地区に届ける、さらにそれぞれの地区でご活躍されている先生方が地域に即した内容でご講演されるという非常にバランスの良い公開講座を展開できました。



県南会場
大仙市大曲



講師：願法 廣典 氏

同時開催

理学療法週間
公開講座

今回紹介するのは...

「多職種 飲みニティサークル」

本連載は、県北で訪問リハをベースに地域と密着した活動を続けていらっしゃる **斉藤 進** 先生（能代山本訪問看護ステーション）をモデルケースに、地域理学療法について学び、地域で暮らす人たちのために、私たちにできることを考えていこう！というコーナーです。

連載最後となる第4回は、「多職種 飲みニティサークル」の紹介と、活動を通して育む地域におけるチームの在り方について考えてみたいと思います。



多職種 飲みニティサークル とは？

名前を見て、すでに不信感を抱いている人もいると思うので、最初に言っておきますが、ただの飲み会ではありませんよ（笑）

この地域では、10年以上前から「医療福祉業種懇親会」という会が不定期で開催されていて、私も2015年頃から参加していました。そして2017年に、研修会も交えた懇親会へとスタイルを変え「多職種 飲みニティサークル」が発足しました。コロナの都合もあり、残念ながら現在は休止中です。

時代とともにこうした会の在り方は変わっていくだろうと思いますが、「ケア・メイトのしろ」や「ケアカフェのしろ」と合わせて、地域のチーム形成に一役買う選択肢になっています。



飲みニティサークル では何をしてるの？



まずは 講話 で学び



懇話会へ



多職種で 歓談タイム

多岐にわたる参加者！

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハ職、介護士、医療事務、医療相談員、歯科衛生士、音楽療法士、ケアマネジャー、福祉用具相談員、施設管理者・経営者、介護タクシー、柔道整復師、自治体職員、議員、配色サービス など...

運営メンバーは、ケアマネジャー、介護福祉士、理学療法士の3名ですが、実際に参加するのは、多いときには80名を超えるときもあります！

地域で働くスタッフは、多職種同士で連携することの重要性をととても感じていて、初めて会う同士でも名刺交換だけでなく、LINEやFacebookといったSNSの交換をする方が多いです。お互いのことをより深く知ること、仕事上のコミュニケーションも円滑になると感じています。



地域で関わる多くの人が集まって頂けます。こんなにたくさんの職種が一同に会することは、病院で働いているとなかなか経験できないことではないかなと思います。



豊富なコーナーも！



福祉用具展示コーナー

虹の街やダスキンなどによる展示コーナーを設けています。最新型の車椅子や歩行器、電動ベッドなども持ってきてくれるのでとても勉強になります。

会食の合間に実際に体験できるのですが、この展示で知った福祉用具をサービス利用につなげたケースもたくさんあります！



配食・補助食品コーナー

配食のふれ愛、宅配123などによる試食コーナーを設け、きざみ食、とろみ食、ムース食など、様々な食形態を試すことができます。またメイバランスやトロメイクなどの試供品をご提供頂いています。

利用者さんが実際に使っているものや口にしているものを私たちも体験することで、利用者さんとの日々の会話や説明もより現実味のあるものになりますよね。百聞は一食に如かず、です（笑）



高齢者疑似体験コーナー



能代市社会福祉協議会からは、写真のような高齢者疑似体験セットをお借りしてきたこともあります。関節が十分に使えず、視界も不十分になります。

理学療法士として利用者さんの身体の状態を頭で理解しているつもりでも、体験してみるとまた気づきがあります。この状態でお酌したらどうなるか...という体験もできました。お酌する側もされる側も緊張しますね（笑）



本当に多くの方々の協力があって、このような充実した会を開催できています。今は残念ながら休止中ですが、またおもしろくて勉強になる企画を考えて開催したいと思います。

ただの飲み会ではなかったでしょう？（笑）ケア・メイト、ケアカフェ、飲みニティサークルと、それぞれ実施時間帯や費用の有無などが違うので、いろいろな人のライフスタイルや価値観に合わせて地域に関わるスタッフと関係を持てると思います。





「地域」という名の チームを育てる

顔の見える関係を作ることが 利用者様の支援につながる

様々な形式の会を定期的開催する事により、毎回参加してくれる「常連さん」も増えていきます。新規の参加者も増やしつつ、常連さんを多くしていくことがとても大切です。**参加者同士が何度も顔を合わせることで、仲間意識が強くなり、絆が生まれ、「顔の見える関係」へと繋がっていきます。**この関係性が、結果的に地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護の連携構築へと結びつくわけですね。というのは理想であり、実際はどこまで影響を与えているのかは不透明なところですね。私の気持ちとしては「同じ目標を持って仕事をする仲間が増えて、楽しく仕事ができている」という感覚です。**楽しく連携できていることで、結果的には、様々な形で利用者様の支援に繋がっていると信じています。**

たくさんの事業所の方々と繋がるようになってから、施設等での勉強会に講師として誘われるようになりました。デイサービス、ショートステイ、グループホーム、訪問

介護などなど、様々な事業所、職種を対象に行ってきましたが、参加者は、知識の習得云々よりも「明日から使える技術」を求めていることが多く、これがまた難しい。実技を行うと、TVショッピングのように「おお〜！」という反応があり、リアクションが大きくて嬉しいのですが、参加者も身体の高さや筋力など様々で、直ぐに習得できる人もいれば、そうでない人もいます。私はいつも「10お伝えするうち、1〜2個覚えてくれればいいです。いきなりできなくて当たり前」と伝え、自分でハードルを下げてやりやすくしています。こういった活動もいつかは、地域の介護レベルの向上に繋がってたんだなと喜べる日が来たらいいなと思っています。

能代山本訪問看護ステーション
齊藤 進



取材を通し感じた 地域理学療法

PTの街育（まちづくり）というタイトルでお送りしてきたこの連載も今号が最後になります。当初この連載を始める前に、齊藤先生のお話を聞きながら頭に浮かんだのが「街育」という言葉でした。地域理学療法を目指すところは、利用者さんの心身や生活の改善だけにとどまらず、その人たちが暮らすコミュニティーに及ぶのかなと。病院では、院内に多職種のチームを形成しますが、地域ではそれが街全体に及ぶ大きなチームなんだと気づきました。理学療法士もこの「地域」という名のチームの一員になり、確かな連携を育むことで、地域理学療法は豊かなものになると感じました。

齊藤先生はとてもフットワークが軽く、クリエイティブな方ですので、今回紹介してきたような活動を、皆が真似できるわけではないと思いますが、地域で働く上で齊藤先生が大切にされていることが皆さんに伝わる連載であればよかったですと思います。そして齊藤先生のお話から溢れ出る、お仕事への熱意ややりがい、楽しさを、みなさんにも感じ取って頂けたら幸いです。

齊藤先生、連載にご協力頂き、誠に有難うございました。

文責：加賀屋 勇氣（広報部）

R5年度 秋田県理学療法士会 研修会

04

理学療法士のライフワークバランスを考える

日時 ▶ 令和6年1月25日(木) 19:00-20:00

講師 ▶ NPO法人ReMind 河合 麻美 氏

開催方法 ▶ Web 開催

参加費 ▶ 会員1,000円

非会員2,000円



お問い合わせ先

秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部

高橋 裕介 までご連絡ください

chuokensyu.akita@gmail.com



専門領域研究班 セミナー案内

各グループでは初学者も参加しやすい内容のセミナーを企画しております。

是非ご参加いただきますようお願いいたします。

スポーツ

秋田県内各施設における膝前十字靭帯
損傷術後リハビリテーションの取り組み

日時 ▶ 令和5年11月17日(金)

運動器

下腿周囲の触診(実技:現地開催)

日時 ▶ 令和5年12月9日(土) 午後

場所 ▶ 秋田リハビリテーション学院

老年期

フレイル・サルコペニア・ロコモ(仮)

日時 ▶ 令和5年12月13日(水)

循環器

離床時の循環動態とリスク管理

日時 ▶ 令和6年1月17日(水)

神経

脳卒中リハビリテーションにおいて
リハ職に求めること

日時 ▶ 令和6年1月31日(水)

研修会・専門領域研究班のセミナーともに
詳細な内容については、随時お知らせ致します。
県士会のホームページにあるカレンダーでも
ご確認いただけます。

皆様奮ってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

表彰報告

9月9～10日に開催された第41回東北理学療法学術大会にて介護老人保健施設やかたの柴田信行先生が最優秀賞を、9月2～3日に開催された日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会2023にて秋田大学医学部附属病院の大倉和貴先生が第9回日本呼吸理学療法学会学術大会長賞と合同学会記念最優秀演題賞RCVPT Award、同病院の坂本理々子先生がTrainee Awardを受賞いたしました。

受賞された三名の先生方からお言葉を頂いておりますので、ご紹介いたします。

第41回東北理学療法学術大会



最優秀賞

介護老人保健施設やかた **柴田 信行**



この度は、栄えある最優秀賞を頂きましたことを大変嬉しく思います。

このような栄誉は自分には縁のないものだと思っておりまして、授賞のお知らせを頂いて唯々驚いております。

ライフワークとして取り組んで参りました「視機能が施設高齢者の転倒に及ぼす影響－コホート研究－」の成果を、最高の形で評価頂きましたことはこの上ない喜びです。

本成果は、私一人の力では到底なし得ることはできませんでした。ご指導、ご支援を賜りました秋田大学の先生方、秋田県理学療法士会の役員の皆様、職場の上司・同僚、家族に心より感謝申し上げます。

未だに歯止め掛からない施設高齢者の転倒予防の実現には、まだまだ解明すべき多くの研究課題が山積しています。目の前の課題を一つひとつ解き明かし、この分野に新時代をもたらすべく、更に研究に邁進して参ります。今後とも皆様からのご指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。この度は本当にありがとうございました。



日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会2023



第9回日本呼吸理学療法学会学術大会長賞

呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会記念最優秀演題賞 RCVPT Award



秋田大学医学部附属病院 大倉 和貴

この度、日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会2023にて最優秀演題賞”RCVPT Award”という大変光栄な賞をいただくことができました。日頃からご指導いただいている先生方、データとしての提供を快諾いただいた患者さん、何よりいつも労い支えてくれる家族に深く感謝したいと思います。

今回の演題は私が現職に入職してから取り組んでいる、日々の臨床データをま

とめた疾患別データベースを活用して解析したものです。作成当時は膨大な情報処理に四苦八苦しましたが、今では一緒に取り組んでくれる仲間が増えました。”データベースを振り返る過程で生まれた疑問を仲間とディスカッションし、臨床に活かすと共に研究として発表する”この過程の繰り返しが実を結んだのが今回の受賞であったと思います。臨床から生まれて、臨床に還ってこそその研究です。今後も日々の臨床を振り返り、都度アップデートしていけるよう精進して参ります。ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。



第9回日本呼吸理学療法学会学術大会 Trainee Award

秋田大学医学部附属病院 坂本 理々子

この度、日本呼吸理学療法学会でTrainee Awardを受賞しました。日頃指導頂いている先生方、お祝いの言葉をお声がけ頂いた先生方、誠にありがとうございます。私は4年目になりますが、入職したのがコロナ禍で今回が2回目の現地参加でした。現地での発表はWeb学会とは比べ物にならないくらいの緊張感で、当日は同期の長谷川先生に顔が青ざめていると言われるくらい緊張していました(笑)。実は、受賞を知ったのは閉会式で、直前までメールをチェックしていたのですが、別のアドレスに送信されていたようで、名前を呼ばれたときは本当に嬉しかったです。というのも、今まで積み上げてきた努力が実を結んだという実感と、ご指導いただいた先生方に恩返しのできたという思いでした。渋沢栄一の名言で「成敗は身に残る糟粕」(成功や失敗は人生の残りカスに過ぎない)というのがありますが、慢心せずにこれからも精進したいと思います。



- 7.1 公益社団法人日本理学療法士協会理事会傍聴 (Web)
- 7.3 東北ブロック協議会六県士会会長会議 (Web)
- 7.6 地域リハビリテーション活動報告・情報交換会 (Web)
- 7.8 日本呼吸ケアリハビリテーション学会東北支部会 (秋田市・ハイブリッド)
- 7.10 第1回リハビリテーション学院学校関係者評価委員会 (秋田市)
- 7.11 秋田JRAT運営委員会 (Web)
- 7.13 第1回秋田県スポーツ医科学委員会 (秋田市)
- 7.14 秋田県呼吸ケア研究会打ち合わせ (秋田市)
- 7.15 第6回JRAT北海道・東北・新潟ブロック会議 (Web)
- 7.16 秋田県豪雨災害にかかるDMAT病院支援 (秋田市)
- 7.17 秋田県豪雨災害にかかるDMAT避難所支援 (秋田市)
- 7.19 秋田県リハビリテーション専門職協議会役員会 (Web)
- 7.21 秋田県豪雨災害にかかる会員被災状況調査 (秋田市)
- 7.21 秋田産業保健総合支援センター様と懇談 (秋田市)
- 7.22 理学療法週間3ブロック同時開催公開講座 (秋田市)
- 7.25 第2回潟上市障害者総合支援法に関する審査会 (潟上市)
- 7.26 専門領域研究班運動器グループ研修会 (Web)
- 8.1 秋田県健康づくり県民運動推進協議会令和5年度総会 (潟上市)
- 8.2 秋田県医師会前会長と懇談 (潟上市)
- 8.2 当会第3回理事会 (Web)
- 8.9 田中まさし政策懇談会 (秋田市・ハイブリッド)
- 8.18 秋田県介護人材確保対策事業 (秋田市)
- 8.21 秋田市在宅医療介護連携推進協議会委員聞き取り調査 (Web)
- 8.22 秋田県リハビリテーション専門職協議会ブラッシュアップ研修会会議 (Web)
- 8.25 令和5年度介護予防事業ブラッシュアップ研修会 (Web)



会長のあゆみ

7～9月会長活動記録

Cartoon by MomentCam

- 8.26 災害医療派遣検討委員会緊急時入カフォーム説明会 (Web)
- 8.29 第3回秋田県医療審議会計画部会 (秋田市・ハイブリッド)
- 8.30 日本呼吸筋トレーニング研究会 (Web)
- 8.30 秋田県介護人材確保対策事業 (秋田市)
- 8.31 第27回秋田県理学療法士学会振り返り会議 (Web)
- 9.1 協会長との私的勉強会 (Web)
- 9.3 秋田県総合防災訓練 (大仙市)
- 9.6 当会元会長と懇談 (八郎潟町)
- 9.8 令和5年度日本理学療法士協会東北ブロック協議会第2回理事会 (岩手)
- 9.9～10 第41回東北理学療法学会大会 (岩手・ハイブリッド)
- 9.11 協会U30,40プロジェクト聞き取り調査 (Web)
- 9.12 秋田県介護人材確保対策事業 (Web)
- 9.13 協会組織運営協議会事前打ち合わせ (Web)
- 9.21 COPDアドバイザーミーティング (秋田市)
- 9.26 秋田県スポーツ科学センタートレーナー事業について評議 (Web)
- 9.26 第3回潟上市障害者総合支援法に関する審査会 (潟上市)
- 9.28 JCORE評価委員意見交換会 (Web)
- 9.30 協会指定管理者初級研修ならびに領域別研修会 (Web)

よこしま 思い邪無し — 会長の想いをつづる —



去る9月9日と10日の両日、第41回東北理学療法学会大会が4年ぶりに対面で、且つ初のハイブリッド開催で行われた。全107演題のうち、秋田からは9題がエントリーされ、介護老人保健施設やかたの柴田信行先生が最優秀賞を受賞された。またその1週間前には、秋田大学医学部附属病院の大倉和貴先生が第9回日本呼吸理学療法学会学会大会長賞と合同学会記念最優秀演題賞RCVPT Awardを受賞している。お二方を心より祝福したい。学会では、いろんな出合いがあった。リモートでは常にお会いしているのに、サイズ感や奥行きなど、改めて対面学会の良さを肌を通して感じる事ができた。こんなこともあった。第35号東北理学療法学会掲載論文表彰で最優秀賞を受賞された先生が、表彰式の後に私に近づいて来て、「覚えてますか？私、市立秋田総合病院の実習生だったんです。その節はお世話になりました。あの時の教えがこうして実を結んだと思っています。感謝しています。」すぐに思い出せなかったことを詫言、当時の話に花が咲いた。やはり人とのふれあいは、心を豊かにしてくれる。コロナ禍の為、初回開催のみで中止を余儀なくされている新人歓迎会を再開したいと切に思った。

菅原慶勇

思い邪無し：
「論語」より。人々の詩を詠む心について述べた一節。
嘘偽りのない純粋さの意。

ニュース編集班より

ParTner読者の皆様、いつもありがとうございます。広報部の佐々木です。210号の表紙は秋田国際ダリア園で撮影した写真です。9月末まで放送されていた朝ドラ「らんまん」ロスを引きずり、普段よりもダリアや植物へ思いをはせながら観賞することができました。

さて、令和5年度のニュースも残り冬号のみとなりました。編集班では引き続き記事掲載のご相談や表紙を飾る風景写真をお待ちしております。次回ニュースの原稿締め切りは12月15日（金）です。年末に差し掛かりますので早めの期日となりますが、宜しく願いいたします。

連絡・送付先：akita.ptnews@gmail.com

問い合わせ先：秋田県立循環器・脳脊髄センター 機能訓練部 佐々木杏奈

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104

学校法人 コア学園 秋田リハビリテーション学院

厚生労働大臣指定・秋田県知事認可校

平成27年4月開校
秋田県初!
理学療法士養成専門学校

理学療法学科

4年課程

40名定員

〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80
TEL 018-865-0188 FAX 018-864-6137 URL <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>



●応援します! 医療と福祉を確かな技術で

有限会社 共栄メディカル

●総合医療機器 ●理化学器械 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●厨房設備機械 ●業務用洗濯機械

〒014-0102 秋田県大仙市四ツ屋字水木田33

〒010-0964 秋田市八橋鯉沼1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123 (代)

FAX 0187-66-2139

☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 池ヶ谷 敏之

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2

Tel.018-839-3551(代) Fax.018-839-3546

横手営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大道向2-4

Tel.0182-32-8311(代) Fax.0182-32-8313

能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上釜谷地189番

Tel.0185-52-0024(代) Fax.0185-54-7319

帝人ヘルスケア株式会社

東北支店 秋田営業所

秋田県秋田市大町3-4-1 NLP秋田ビル 7階

(社)日本義肢協会
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183
支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347
〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

一般社団法人日本義肢協会加盟・東北101号



株式会社 千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22

TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126

<http://www.sensyu-gishi.co.jp>